



## 2.35 PDA 千葉県立千葉高校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2019年10月28日(月) 15:40-18:10

会場：千葉県立千葉高等学校

参加者：生徒13名、教員5名

ジャッジ：PDAスタッフ、一橋大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

昨年即興型英語ディベートを体験した生徒が中心となり、ディベート同好会が発足しました。今年の参加者はその同好会メンバーと、ディベートに興味を持つ初参加の生徒で、首都圏交流大会に向けたセミナーが行われました。

まずPDAスタッフによるルール、スピーチ方法の講義後、動画による大学生のトップディベーターによるモデルディベートを見学しました。その後すぐに、生徒たちの実践となりました。

2年生テーブルと1年生テーブルに分かれて、それぞれディベートが始まりました。2年生テーブルは初めからPOIが飛び交う白熱したディベートが展開されました。1年生テーブルは短い準備時間の中で、多くがスピーチ内容が未完成な状態での発表でしたがそれでも、『何をしたらよいか分からない』という表情は見られません。自分たちの出したポイントについて一生懸命主張していました。



続く第2ラウンドでは、両テーブルの生徒たちもさらに要領をつかんできて、先ほどのラウンド後にジャッジスタッフから受けたアドバイスを早速各々が意識しているようでした。1ラウンドから2ラウンドにかけて多くの生徒に成長の跡がみられました。校長先生が最後まで生徒の様子を見守る中、ジャッジの勝敗およびコメント後はテーブルで両サイド共に笑顔の絶えない雰囲気でした。

## 参加者の声（アンケートより抜粋）

・最初のディベートのビデオでそのレベルの高さに驚き、まず改めてしゃべれるようになりたいと思った。自分のしゃべれなさを実感しつつ、ディベートで有効な話をたくさん聞いた。2ラウンドあったことも、言われたことをすぐに実践できる形式でありがたかった。

・即興ディベートをやるのは初めてだったが、色々と考えさせられることや、なるほどと思うことが多く、非常に勉強になった。時間がない中での準備は大変だったが、POIなどに答えられた時に良かったなと思った。

・1回目から2回目で自分が少し成長できたなと感じられた。

・日本語だとできることが英語だと難しいから単語力を身につけたいです。

・アドバイスをいただいて、自分が言いたかったことを言葉にしてもらって、どうしてこの言葉が自分で出せなかったのかがとてもくやしかったです。これからたくさん練習を重ねていきたいと思います。

・非常に楽しめました。また、自信もつき、これからより精力的にディベートを行っていきこうと思いました。

・色々アドバイスがもらえたので、今後そこを改善していきたいです。また、POIをどんどんして良いことがわかった。もっとしていきたいです。

